

♡ 広報

かみめ 4



シリーズ
すきです!勝沼町

桜の名所として親しまれている「甚六桜」。お祭り会場には多くの来場者が訪れた

地元を守る後継者たち

「地域づくりのかけ橋に」

～郷土に色づく甚六桜～

4月10日(日)に勝沼ぶどう郷駅東側の甚六公園で「甚六桜祭り」が盛大に行われました。このお祭りの舞台裏には地元後継者の熱い思いが込められています。

昭和48年、菱山の地域づくりのためにと長男有志16人で結成した「甚六会」。地域に住む仲間同士が気兼ねなく話し合える場として、今なお受け継がれています。昭和50年から、甚六会の思いを込め植えられた「甚六桜」。会員のみなさんは先輩が植えた桜を育て、自分たちの地域は自分たちの手で守ろうという大きな財産を受け継いでいます。

甚六会の仲間同士の交流と先人の築いた甚六桜を守るという思いが地域を愛する気持ちにつながり、いつまでも喜びを分かち合えることができればいいですね。



会員は約50名。世代を越え、地域づくりに励む

CONTENTS

主な内容

3月議会	2~3
17年度予算	4~5
男女共同参画社会	6
市町村合併を追って	7
消防団新役員紹介	8
新しい町議会構成	9
ふれあい保健センター紹介	10

住民による自治活動を基本に

地域の活性化へ

本年十一月一日に甲州市が

発足します。十月をもち独立した自治体としての勝沼町は、幕を閉じます。勝沼町の締めくくりには万全を期していきますが、合併は、終わりでなく始まりです。目標ではなく、手段です。

まちづくりの基
本は、生涯学習に

よるものであると考えています。町民すべてのみなさんが、このまちに住んで良かった、もっと住み良いまちにしたいこと、まちづくりに積極的に関わっていただくことが、生涯学習の目指す姿です。生涯学習は、まちづくり「その

ものであると考えます。

合併後の地域のあり方を考えるとき、地域の自治、住民による自治をどのように伸展させていくかということとは、重要な課題です。甲州市では、旧市町村単位に地域自治

町内四地区へまちづくり事業に対する補助金

＝地域振興費を計上＝

組織を設け、それぞれ地域総合局と地域協議会を設置することが決まっています。ここを拠点に自治公民館や行政区など、住民による自治活動の活性化が図られていくことがたいせつです。まちづくりの基本は住民自治にあります。

新年度予算ではその前段階

として、町内四地区へのまちづくり事業に対する補助金を骨子とする地域振興費を計上しています。地域の発想により、みなさんのまちづくりに対する意識を高めるよう、それぞれ地域の取り組みに期待するところと見ます。

市町村合併につきましては、一月三十日から二月四日にかけて「甲州市まちづくり計画」の住民説明会を開催しました。二月二十一日には合併調印式を行い、二月二十五日に臨時議会で廃置分合に関する議決をいただきました。今

後の日程は、三月十六日に県

知事へ申請を行い、六月県議会での議決、総務省による告示を受けて、十一月一日の合併を迎えます。

「勝沼タイムトンネル百年構想」～整備着手～

近代の歴史的建造物を活用して地域の活性化をめざす近代化遺産の整備事業は、昨年「勝沼タイムトンネル百年構想」として掲げました。平成十七年度から、国土交通省の「まちづくり交付金」を活用し計画的に取り組んでいきます。中央線の旧深沢トンネルや宮光園、日川流域の土木遺産など貴重な建造物を地域の資源として活性化を図ります。

今回の議会に提出された案件は三十四件。平成十七年度一般会計予算案などいずれも原案どおり可決・承認されました。

主な可決議案

平成十七年度一般会計予算
平成十七年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ四十一億六千九百万円となりました。(当初予算の内容は、四・五ページをご覧ください。)

一般会計補正予算

平成十六年度予算に、歳入歳出それぞれ六千四百九十二万四千円を追加し、四十五億二千二百九十九万六千円となりました。

勝沼町農業農村情報連絡施設設置および管理に関する条例の一部改正

CATV運営に関して、適正かつ効果的な管理運営を目標として、指定管理者制度を導入する条例改正について承認されました。

ぶどうの丘事業管理者、勤務条件に関する条例の制定

ぶどうの丘事業管理者の給与、旅費、勤務時間などの勤

議会



平成十七年の第一回定例会は、三月九日から三月二十二日まで、十四日間の日程で開催されました。十六年度の一般会計と特別・企業会計の予算の認定など、提出された三十四件の

3月



誰もが住みやすく、健康で個性あふれる町の実現を

「永同郡と友好都市に向けて」
 姉妹都市ポーヌ市から中学生を中心とする使節団が、二月二十八日から三月四日まで訪れ、ホームステイや生徒との交流を通じ、相互理解を深めました。
 永同郡との交流は、足かけ三年に渡る相互交流を行って

います。永同郡は当初より、本町との正式な友好関係を強く望んでおり、町としても、友好都市等の関係を構築したいと考えています。
勝沼小学校大規模改造事業工事準備が進む
 勝沼小学校（校舎）の大規模改造事業については、県と



案件について慎重に審議が行われ、いずれも原案どおり可決、承認されました。初日の本会議では、審議に先立ち町長から、十七年度の取り組みや事業の進捗状況が報告されました。

ぶどうの丘美術館は、故池田満寿夫先生の作品展を五月十五日まで開催しています。また、ぶどうの丘地下ワインカーヴでのテイスティング・

観光地モデル事業
 観光振興計画書を作成

ぶどうの丘美術館は、故池田満寿夫先生の作品展を五月十五日まで開催しています。また、ぶどうの丘地下ワインカーヴでのテイスティング・

のヒアリングなど協議を進め、実施設計を行い、平成十七年度の事業実施に向けて作業を進めています。
 文化財関係では、勝沼氏館跡整備事業の今年度調査を終了させ、一月に環境整備工事に着手しました。近代化遺産として登録文化財になっている祝橋の修理事業については、一月に着手し、本年七月の完成を目指しています。この事業は、峡東地域広域水道企業団が祝橋へ水道本管を敷設することに伴い実施するもので、老朽箇所については大がかりな改修工事を行っています。



J R中央線の旧大日影トンネルと旧深沢トンネルが町へ払下げられ、契約を交わした

近く県へ提出します。

観光地づくりモデル事業は、

ぶどうの丘美術館は、故池田満寿夫先生の作品展を五月十五日まで開催しています。また、ぶどうの丘地下ワインカーヴでのテイスティング・

ガイドツアーなど、誘客対策に努めています。
 なお、十一月の合併を踏まえ、今議会で、ぶどうの丘事業に管理者を置く条例の制定をお願いしました。ぶどうの丘事業は、そのまま直営施設として新市に引き継がれますが、将来を考えたとき、新市の市長がすべてを行うことは難しいと判断し管理者の設置をお願いするものです。
 J R中央線、旧大日影トンネルと旧深沢トンネルの町への払下げについては、三月末までに最終契約をする予定です。深沢トンネルのワインカーヴ整備は、年度内に完成する予定で、設置および管理、使用料に関する条例を今議会でお願いをします。魅力ある観光地づくりモデル事業は、塩山市や山梨市と連携を取り、観光振興計画書を作成し、近く県へ提出します。

はあります。

情報公開制度・個人情報保護制度
 実施状況のお知らせ

町では広報紙だけではなく、CATVや町のホームページでも住民の方々に情報を提供していますので、どうぞご利用ください。
 なお、平成十五年四月一日から平成十六年三月三十一日までの情報公開および個人情報保護に関する請求

「個人情報保護条例」の制度をご存知でしょうか。この制度の導入により、町の情報がすべての人に公正でわかりやすいものになっています。
 住民主体のまちづくりを進めるために、また、生活の中での疑問や不安などを解消する手段としてこの制度を活用してみたいかがでしょうか。

業務条件に関する条例が制定されました。
 「ぶどうの丘事業管理者に 坂本忠義氏」
 四月一日付けで、ぶどうの丘事業管理者に、坂本忠義氏が就任しました。

校舎を大規模改修

～ 工事費2億6,000万円～

勝沼町のまちづくりの基本となる平成十七年度当初予算額は、歳入歳出とも四十一億六千九百万円。前年度と比較すると六千九百万円の増額となっています。

十一月の合併を控える中で、新年度も健全財政を心がけ、豊かで潤いあるまちづくりに向けた予算編成を行いました。

今号では、平成十七年度予算の概要をお知らせします。

一般会計

41億6,900万円

歳入

地方交付税三・七%減

総額四十一億六千九百万円の内訳をみると、町税や分担金および負担金、繰越金などの町独自で調達できる自主財源が、十五億六千四百八十万六千円（構成比三七・六%）となっています。

また、地方交付税や町債、国・県支出金などの財政状況により国や県からの交付される依存財源が、二十六億四百九十九万四千円（六十・四%）となっています。

地方交付税：十四億千五百万円

国税のうち、所得税や酒税、法人税、たばこ税の一定割合を、各自治体の財政事情に応じて交付されるものです。歳入全体の三十三・九%を占めています。

町税：八億六千七百九十八万六千円

町債：六億二千二百二十万円

建設事業などで一時的に大きな資金が必要な場合に、国や銀行等から借り入れるお金です。

国・県支出金：五億六千六百九十九万四千円

町が行う事業に対して、国や県が経費の一部を負担・補助するものです。

分担金および負担金：一億四千九百六十一万八千円

町が行う事業に掛かる経費のうち、利用者や受益者などに負担してもらうお金です。

繰入金・その他：五億四千七百二十万二千円

特別会計などからの繰入金や公共施設の使用料、手数料、寄付金などです。

繰入金：一億七,000万七千円（4.1%）

分担金および負担金：一億4,961万8千円（3.6%）

その他：三億7,719万5千円（9.1%）

地方交付税：十四億1,500万円（33.9%）

歳入：41億6,900万円

国・県支出金：五億6,699万4千円（13.6%）

町債：六億2,220万円（14.9%）

町税：八億6,798万6千円（20.8%）

地方交付税：十四億千五百万円

国税のうち、所得税や酒税、法人税、たばこ税の一定割合を、各自治体の財政事情に応じて交付されるものです。歳入全体の三十三・九%を占めています。

町税：八億六千七百九十八万六千円

町債：六億二千二百二十万円

建設事業などで一時的に大きな資金が必要な場合に、国や銀行等から借り入れるお金です。

国・県支出金：五億六千六百九十九万四千円

町が行う事業に対して、国や県が経費の一部を負担・補助するものです。

分担金および負担金：一億四千九百六十一万八千円

町が行う事業に掛かる経費のうち、利用者や受益者などに負担してもらうお金です。

繰入金・その他：五億四千七百二十万二千円

特別会計などからの繰入金や公共施設の使用料、手数料、寄付金などです。



町の貴重な自主財源である町税は歳入全体の2割弱

特別会計・企業会計をみてみましょう

介護保険	歳入歳出	5億7,369万5千円
国民健康保険	歳入歳出	9億945万円
老人保健	歳入歳出	9億9,651万8千円
町立病院	事業収益	6億1,464万1千円
	事業費用	6億1,464万1千円
ぶどうの丘	事業収益	11億1,631万円
	事業費用	10億9,276万円
上水道	事業収益	8,047万2千円
	事業費用	8,047万2千円
下水道	歳入歳出	4億8,148万1千円
簡易水道	歳入歳出	2億3,590万1千円
岩崎山管理会	歳入歳出	40万8千円
用地	歳入歳出	142万6千円

平成17年度予算

勝沼小



一般会計当初予算は町民一人あたり434,406円の計算に(4月1日の人口で換算)

歳出

東雲地区に「児童館」を建設

民生費：七億八千四百二十三万八千円
児童福祉や障害者福祉、老人福祉、東雲ふれ

福祉、東雲ふれ
の交流事業などに使われます。

歳出を目的別に見た内訳は次のとおりです。
総務費：九億九千九百五十万円
職員の人件費や行政運営に必要な事務費、東山梨地域合併協議会合併準備負担金、峡東地域広域水道企業団負担金、町民バ

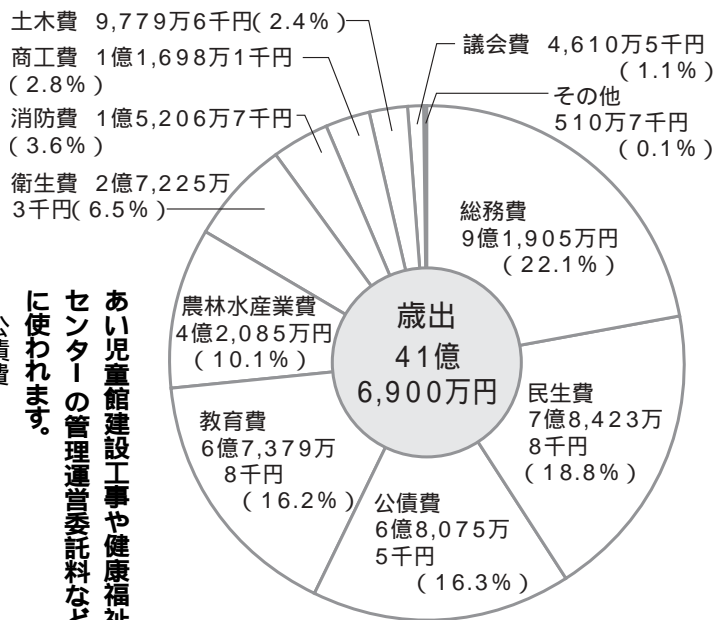
ス運行委託料などです。
民生費：七億八千四百二十三万八千円
児童福祉や障害者福祉、老人福祉、東雲ふれ
の交流事業などに使われます。

あいい児童館建設工事や健康福祉センターの管理運営委託などに使われます。
公債費：六億八千七百七十九万八千円
一時的に大きな資金が必要な建設事業などを行う場合に、国や銀行から借り入れたお金の返済です。

「近代化遺産」を活用した地域の活性化の推進、ワイン振興や観光宣伝活動に使われます。
土木費：九千七百七十九万六千円
町道の改良や維持管理、水路改修、公園整備や管理などに使われます。

災害復旧費や予備費などです。
予備費：五百十七万七千円
民生費：七億八千四百二十三万八千円
児童福祉や障害者福祉、老人福祉、東雲ふれ
の交流事業などに使われます。

「近代化遺産」を生かした



農林水産業費：四億二千八十五万円
環境にやさしい農業推進事業や農道をはじめとした農業基盤整備を行います。
衛生費：二億七千二百二十五万三千元
ゴミを処理している東山梨環境衛生組合への負担金のほか、各種予防接種や検診活動、病院会計や国民健康保険会計等への繰り出しなどに使われます。
消防費：一億五千二百六十七万円
東山梨広域消防組合への負担金や町消防団の活動費、消防施設の整備を行います。
商工費：一億六千九百八十八万円

喜び・責任を 分かち合える社会へ



**男女が共同で
まちづくりを**

かつめまヒューマンプランは、住民一人ひとりがお互いの人権を尊重し合い、あらゆる生活の場に男女が共同して参加することができる社会を目指しています。平成十四年三月に策定されたこのプランは、男女共同参画社会基本法を基本として、本町の女性が抱えている課題の解決や年齢や性別の垣根を取り払い、すべての人が共に住みやすい勝沼町をつくることを目標にし

男女がお互いを理解し、あらゆる生活の場面に共に参画していくことを目指した「かつめまヒューマンプラン」が策定されてから三年が経過しました。今号では、改めてヒューマンプランの目的や内容を解説しながら、現在の推進状況をお伝えします。



男女がお互いに支え合える社会の実現を

ています。また、男女の人権の尊重、固定的な性別役割分担の是正、あらゆる分野への男女の共同参画、家庭における活動と他の活動との両立を基本理念に掲げると共に、五つの基本的視点を明記しながら、より実効しやすいように家庭、地域、教育の場、働く場の分野ごとに目指すべき目標を設定しています。そして「現状と課題」を考察しながら、根本となる施策の方向や実践すべき事業を具体化しています。

性別で役割りを分ける「男は仕事、女は家庭と子育て」といった固定的な役割分担意識によって、男女の片方がつらい思いをしているとしたら、決して居心地のよい家庭や地域とはいえません。このような意識を少しでも変える

ことが、男女がお互いを尊重し、喜びも責任も分かち合い、個性と持てる能力を十分に発揮することを目指す男女共同参画社会づくりの第一歩になるはずですね。

プランの実現は 「気付くこと」から

町では町民のみなさんをメンバーとしたヒューマンプラン推進委員会によってプランを推進しています。現在、第二期の推進委員三十六名が「家庭」「地域」「教育」「労働」の四部会に分かれ啓発活動や各推進事業などへの取り組みを積極的に展開しています。かつめまヒューマンプランの推進と実践は、わたしたち一人ひとりの「気付き」が必要

であり、身の回りにある社会的・文化的につくられた性差（ジェンダー）に気付くことから始まります。

今後も推進委員会では、男女が進めるまちづくりに向けた活動を行っていく考えですので、みなさんのご理解とご支援をお願いいたします。



「家庭」「地域」「教育」「労働」の4部会に分かれ、推進活動を行っています

声

思い合う 気持ち大切です



坂本土郎さん
(勝沼)

昨年6月から第二期推進委員として活動しています。以前は「男女共同参画なんて自分には関係ない」と考えていましたが、学習会などに参加するにつれ、今までの意識を少し変えていくことが必要であると感じました。ヒューマンプランの目的は、お互いを大切に思い合い、お互いの意見に耳を傾ける姿勢や理解しようとする努力、そして協力し合いながら生活することだと思っています。急に意識を変えることは大変ですが、出来ることから始めると良いのではないのでしょうか。

合併は新たなまちづくりのスタート

いよいよ「甲州市」誕生まで残すところ六カ月あまり。みなさんは新市にどのような期待や希望を描いていますか。三市町村が、将来に渡り輝くまちにするためには、みなさんと共に考え育んでいかなければなりません。今号からはシリーズとして、新市「甲州市」をめぐる探訪」と題して、町民のかたに塩山市や大和村を紹介していただきます。今後もみなさんの「甲州市」に対する考え、ご意見をお待ちしています。

山梨県知事へ「廃置分合」を申請

平成十七年三月十六日(水)に県庁の知事室で、三枝塩山市長、三枝勝沼町長、佐藤大和村長が塩山市・勝沼町・大和村の廃置分合(市町村合併)の申請を山梨県知事に提出しました。

これを受け、県では総務省に市制施行の協議を行い、六月定例県議会に三市町村の廃置分合を提案することになっていきます。

その後、七月に県議会の議決、八月の総務大臣による決定および「甲州市」設置の官報告示が行われる予定です。

ちょっと豆知識

廃置分合...地方公共団体(市町村)の新設や廃止を伴うことをいい、分割、分立、合体、編入の四種類があります。

「甲州市」は、塩山市・勝沼町・大和村が廃止され、合体ということになります。

官報...国が発行する法令公布の機関紙で、国の広報紙、国民の公告紙として国民に公式に周知する文書のことです。



今年三月末日に期限を迎えた合併特例法の中で申請したことにより、合併特例債など有利な支援措置が新市のまちづくりに活用できます。

甲州市の「市章」を募集中心！
五月三十一日(火)まで

新市「甲州市」の市章デザインを募集しています。市章は地域の特性がイメージでき、新市の将来像「豊かな自然 歴史と文化に彩られた果樹園交流都市」にふさわしいデザインなどを選定基準とします。募集期間は五月三十一日(火)までとし、採用作品(最優秀賞)には、十万円が送られます。なお、応募の詳細内容は、各戸に配布したチラシまたは、合併協のホームページをご覧ください。

応募・募集に関するお問い合わせ

東山梨地域合併協議会
〒409 0045
塩山市上塩後240

0553 32 6121
FAX 0553 32 6122

【Eメール】

HigasiYamanashi-gappeikyoo@fruitcountry.jp

【ホームページ】

http://www.fruitcountry.jp

シリーズ「甲州市」をめぐる探訪

十一月に誕生する「甲州市」。塩山市や大和村には、どのような名所があるのでしようか。

今回は、塩山市内の山梨県自然記念物「ザゼン草」と慈雲寺の「イトザクラ」を今年四月、塩山高校に入学した宮腰優花さん(小佐手)に紹介していただきました。

自然記念物「ザゼン草」

塩山市の竹森地区に「ザゼン草」の群生地があります。が、はじめて見ました。ザゼン草は、湿地に生える多年草、水芭蕉に似た形で褐色でした。実際見てみると、僧が座禅をしているようで、とても神秘的でした。



今年、塩山高校に入学した宮腰さん。慈雲寺の桜も祝っているかのように満開

慈雲寺の「イトザクラ」

四月九日は晴天で桜も満開。糸を垂らすかのようにピンク色の桜の花が咲き、あまりの美しさについて見入ってしまいました。さすが、樹齢三百年。この日、慈雲寺にはたくさんのお客が来ていました。私は慈雲寺の桜を初めて見ましたが、こんなに有名とは思いませんでした。また、境内には、五千円札の樋口一葉の文学碑があり、歴史を感じました。

林の中に静かにたたずむ「ザゼン草」。春の訪れを感じ、心を癒してくれました。

十一月一日に「甲州市」になることは知っています。でも、隣の塩山市がこんなにも歴史や自然の豊かな町であるとは思いませんでした。大きな市になることや、塩山高校での学校生活など期待がいっぱいです。そして、これから先も、新しい市が私たちのまちとして自慢ができるような気がします。

生涯学習の広場 KATSUNUMA PickUp



元気にあいさつをする児童

祝入学！ 楽しい学校生活 が始まる

四月六日（水）に町内の各小学校で入学式が行われ、九〇人の子どもたちが一年生として新たな生活スタートさせました。お母さん、お父さんに手を引かれながら入学式に出席した新一年生。はじめは緊張気味の児童も、担任の先生から名前を呼ばれると「ハイ！」と元氣よく返事をしました。

感動の舞台が勝沼に

劇団はぐるま座勝沼公演

四月八日（金）に町民体育館で、劇団はぐるま座による「高杉晋作と奇兵隊」が公演されました。

高杉晋作は江戸時代、幕末の日本を揺り動かした明治維新の実現に身をささげた人物です。高杉が中心となり、身分に関係なく郷土を守る若者たちの軍隊をつくり上げた「奇兵隊」。

公演では、若者たちの幕末歴史口マンに、会場に集まった大勢の来場者は感動のようすでした。また、この公演には、勝沼中学校剣道部もエキストラとして参加し会場を盛り上げました。



劇団はぐるま座の熱演は会場を沸かせた

町消防団・入退団式

地域の安心と安全を

勝沼町消防団の入退団式が四月一日（金）に町民会館で行われました。本団役員をはじめ入退団者が式典に出席し、辞令の交付を受けました。

新団長の若林博文団長のもと、町消防団はわたしたち地域住民が安心して生活できるために防火、防犯活動に取り組んでいきます。

町消防団十七年度本団役員決まる

新団長には若林博文さん（藤井）、副団長には笠原浩さん（等々力）、堀田茂利さん（上岩崎）がそれぞれ就任しました。



堀田茂利副団長



笠原 浩副団長



若林博文団長

守り続ける伝統行事



かわいくおちごさんになった女の子たち

菱山の三光寺聖徳太子堂（町指定文化財）のお祭りが四月三日（日）に行われました。

菱山小学校の四人の女の子がおちごさんになり、三光寺の歴史や聖徳太子との関わりの書物を読み上げました。約三百年前から行われている伝統行事が今でも受け継がれています。

また、この日お釈迦様の誕生をお祝いして、お寺に訪れたみなさんは、お釈迦様の像に甘茶をかけ、御利益をお祈りしました。



お釈迦様に「甘茶」をかけ、御利益を祈るちびっこ



町長への手紙

犬の飼い主の方へ

犬のふんの後始末はしっかりと

意見

私の住んでいる家の近くで犬の散歩をする人を見かけます。しかし、いつ犬の散歩をするのか、どこかの犬がふんをして飼い主がそのままにしていくなか分りません。そこを通るたびに不愉快な気持ちになります。これからの季節は衛生的にも悪くなり、外見上もとても悪いです。

となり近所の人が犬の散歩をして、犬のふんをそのままにしているにも注意をする勇氣もありませんし、トラブルが起きることも避けたいのです。犬を飼う人のマナーの向上と、行政からの呼びかけを積極的に行ってほしいです。
(等々力・一住民)

交通災害共済の集金制度について
質問

交通災害組合と勝沼町はどのような関係ですか。
なぜ、掛け金の集金を加入者(客)である町民が行うのですか。
集金人が集金の際に事故や災害が

起きてしまった場合、「責任」はだれが、どのような形で処理するのですか。
(等々力・男性)

答え

「山梨県市町村総合事務組合」では「市町村交通災害共済事務委任規則」を制

定し、市町村長に事務の委任をしています。これにより、加入申し込みの取りまとめや、交通災害を受けられたかたへの見舞金の一部支払いを市町村が行っています。

この制度の趣旨は「住民のための相互扶助」で多くの住民に加入していただくのが理想です。そのため、毎年各区長さんに加入取りまとめをお願いし、希望者が加入できなかつたなどというのではないようにしています。この方法は、町が広報紙などでお知らせするより、効果があると考えられます。このため、区長さん、組長さんには「足労をいただいています。

行政にとって区との関わりは重要で、ご協力をいただかなければ行き届いた行政サービスの実現は困難です。本町では「勝沼町区長設置規則」により区長・区長代理に町政へのご協力をお願いしています。

町では、報酬として区長・組長に一定の額を支払い、町からの依頼に対応していただいています。現金の回収には賛否があると思いますが、行政サービスが細部に引き届くため、このような形を取っています。ただし、事故・災害に対しましては補償制度などありませんので十分注意をしていただき、事故などが起きないようにお願いする次第です。

今後のより良い方向について検討させていただきますので、「ご理解とご協力をお願いいたします。

新しい町議会構成が決定

新議長に高野聖哉氏

最終日の本会議(三月二十二日)で議長の改選が行われ、新しい町議会議長に高野聖哉氏(勝沼)、副議長に吉原章氏(勝沼)が選出されました。
なお、新しい議会構成は次のとおりです。(順不同・敬称略、委員長 副委員長)

委員長 副委員長

【総務常任委員会】

原 勝 坂田一郎 高野聖哉、佐藤守孝、畑野捷茲、堀内喜彦

【教育厚生常任委員会】

甘利浩信 佐藤栄也 長田さと子、川口信子、吉原 章

【経済土木常任委員会】

夏八木盛男 古屋匡三 平塚 義、内田定男、小川眞澄

【議会広報編集委員会】

長田さと子 小川眞澄 堀内喜彦、原 勝、甘利浩信、夏八木盛男

【議会運営委員会】

佐藤栄也 原 勝 坂田一郎、甘利浩信、長田さと子、夏八木盛男、古屋匡三

【合併調査特別委員会】

内田定男 佐藤栄也(委員は全員)

【消防委員】

原 勝、佐藤守孝、夏八木盛男、畑野捷茲、堀内喜彦

【東山梨行政事務組合議会】

堀内喜彦、佐藤守孝

【東山梨環境衛生組合議会】

吉原 章、畑野捷茲、佐藤栄也、古屋匡三

【釈迦堂遺跡博物館組合議会】

高野聖哉、佐藤守孝、長田さと子、小川眞澄、甘利浩信、川口信子

【峡東地域広域水道企業団議会】

平塚 義

【監査委員】

長田さと子



吉原 章副議長



高野聖哉議長

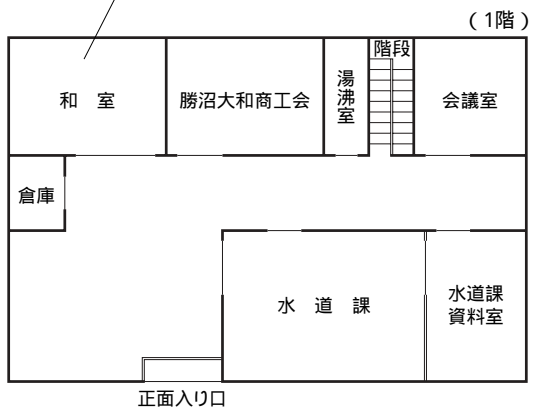
保健師だより



一階はこれまでと変わらず、水道課、勝沼大和商工会があります。
また、和室や会議室も整い、町民のみなさんの交流の場として使用が出来ます。とくに十八畳の和室は、生きがいづくりのための趣味クラブなどの場として多目的に利用できます。地域の交流の場として心と体の健康維持ができるのではないのでしょうか。



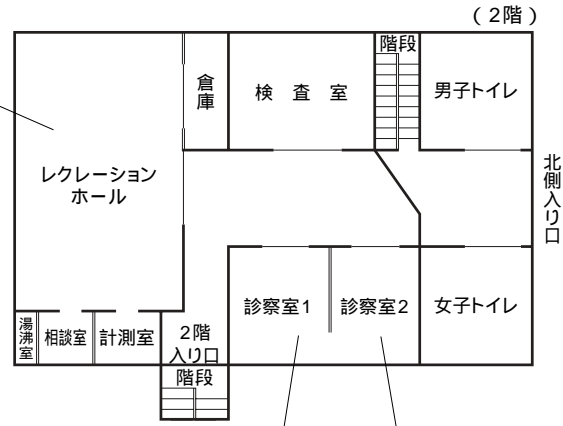
町保健師
岡 澄子指導監



役場別館の改修工事が昨年度に行われ、四月一日に「ふれあい保健センター」としてオープンしました。
町民のみなさんの健康と福祉の拠点施設として各種検診、講演会、親子の学級活動など多目的な利用が出来ます。
今号の「保健師だより」では、町保健師の岡澄子指導監に館内を紹介していただきました。

健康づくりの拠点施設として

「ふれあい保健センター」が完成!!



レクリエーションホールは、住民のみなさんの健康で明るい生活を支援するための運動や体操健康教室や講演会などに活用できます。
館内はみなさんが親しみやすく、木材を使用しながら、室内は明るく温かみのある空間となっています。赤ちゃんからお年寄りまで、レクリエーションホールを利用しながら、町民のみなさんの健康の保持、増進に向けての健康づくりを積極的に行っていきます。

二階には、診察室、相談室、検査室、計測室が整備されました。おもに乳幼児健診や予防接種などを行う場所として利用します。
毎月実施する乳幼児健診では歯科、内科、聴力検査などをこの部屋で行います。



- ふれあい保健センターの入り口は、正面階段を上がり二階になります。バギーや車いすのかたは、町民会館のエレベーターを利用し、通路を通り二階に上がることができます。
- 町では、ふれあい保健センターを拠点として母子、成人、老人保健事業を積極的に進めていきます。また、保健師や助産師が出向き、赤ちゃんからお年寄りまで町民のみなさんの総合的な健康づくりの場として利用してまいります。
 - お問い合わせ
健康に関すること
役場健康福祉課
四四 一一一
 - (内線八三三)
一階会議室・和室・二階レクリエーションホールの利用申し込み
役場総務課
四四 一一一
 - (内線一七)



料理

私の**アイディアメニュー**

きのこ春キャベツのスープ

勝沼管理栄養士
岡村栄美子さん

材料（4人分）

しめじ	1パック	オリーブオイル	大さじ1
エリンギ	1パック	水	カップ4と1/2
キャベツ	2枚	コンソメ(固形)	2個
ハム	5枚	にんにく	1かけ
塩・こしょう	各少々		(みじん切り)

作り方

ハムは半分に切り1cm幅にする。しめじは石づきをとり小房に分け、エリンギは長さを半分に切り、それを縦半分に薄切りにする。



1人分：70kcal
コレステロール：3mg

キャベツはハムの大きさにそろえて切っておく。

鍋にオリーブオイルを入れ、にんにくを炒め、香りが出たら他の材料を加えて炒める。

材料に軽く火が通ったら、水とコンソメを加えて煮立てる。

具に火が通ったら、塩・こしょうで味を調べてできあがり。

かつぬま文芸

短歌

勝沼歌会

桃の節句にちらしらずしつけ蛤の吸物作る独りと言へど
 こんにははと声かけくれし中学生に元気を貰ふ検診帰りに
 大吉と出しておみくじにうきうきと回り道する夫と共に
 ほとばしるシャワーの湯に髪うたせつつ愛にめざめし若き日思ふ
 露のたう春の香と手作りの味噌と奏でる味ハーモニ
 インプリントされし我かも顔みれば孫は甘えておんぶをせがむ
 葡萄蔓燃ししついでと焼芋を友のくれたり幼日の味
 口車についてのせられし高級ミシン八十過ぎしわれには重荷
 道なりに増えて芽生へし水仙の花咲くまでわれいく度通らむ
 春一番に大きく揺るる杉の枝花粉思へば恐ろしくなる

田中八寿子
三森美恵子
芦沢 福子
三森 峯子
三森あけみ
高野 美鈴
飯島イズモ
萩原 志ず
雨宮 秀子
太田もと子

新しい食生活改善推進員を紹介します

勝沼町食生活改善推進員さんに、新しい七名が委嘱されました。

改善推進員は、みなさんの健康づくりに必要な栄養、運動、休養の三本柱を中心に地域の食生活改善に努めています。健康と食生活に関する学習を重ねながら、積極的に活動を展開していきます。

今回、新しく推進員となった七名のかたを紹介します。(順不同)



石場久美子さん
(菱山)



阪本浩美さん
(休息)



石原ひろ美さん
(下岩崎)



小林朝子さん
(勝沼)



佐野和美さん
(小佐手)



川口信子さん
(小佐手)



雨宮広美さん
(勝沼)

町長からの手紙 桜の花びらが舞うなか、戦没者慰霊祭で感じたこと

遅れていた桜の花も、初夏を思わせる気候のもとで満開となりました。二五度を超える夏日が続き、桃の花も一気に見ごろになりました。ことしは桜と桃の花が同時に楽しめるという何ともぜいたくな花見となりました。南アルプスの白い山並みと、桜や桃の花のピンクとの、鮮やかな対照は、全国にも誇れる甲州の春の風物詩です。日本の四季は、みごとに色彩を描き出す芸術のように感じます。

散り始めた桜の花びらが春のそよ風に舞う四月十日、戦没者慰霊祭が平和の塔前で開かれました。終戦から六十年の歳月が流れようとしています。遺族のかたの高齢化も進んでいます。

平和の塔には、日清戦争から太平洋戦争まで、戦死された四百四十四人の町民のかたがまつられています。祖国や故郷、家族や友人、恋人などを思い、亡くなられていったかたの気持ちを考えますと、平和な時代を後世につなげていくことの大切さを痛感します。しかし世界を見渡しますと、イラク戦争や中東紛争など、戦火が絶えることはありません。一度戦争を起すと、長期にわたり、憎悪の感情が植え付けられ、その後幾世代にも及んでいきます。最近報道される中国や韓国の状況を見るたびに、その感を強くするのは、わたしだけでしょか。

数年来のおつき合いの中で、友好を温めてきた韓国永同郡との関係も非常に微妙な状況です。住民同士、自治体同士が直接ふれあうことにより、相互理解が深まっていくことが、国際交流の良さなのですが、国家や民族意識のほざまで翻弄されるのは残念なことだと慰霊祭を通じて感じています。

勝沼町長 三枝 武人

発行/勝沼町役場 編集/まちづくり推進室
〒409-1392 山梨県東山梨郡勝沼町勝沼756-1

TEL 0553-44-1111 FAX 0553-44-0001
E-mail: kouhou01@town.katsunuma.yamanashi.jp

みんなのアイドル ちびっこフォト

かわいい瞳 みんな元気



ながの がほ
長野佳帆ちゃん (2歳) (等々力)
おねえちゃんがだいすきな佳帆ちゃん。人に迷惑をかけないで、自分の信じた道を歩んでねと、父・篤雄さん、母・文さん。



つちや せんり
土屋扇利ちゃん (2歳) (下岩崎)
歌やおねえちゃんがだいすきな扇利ちゃん。思いやりと素直さを忘れずになかよくすすく育ってねと、父・拓也さん、母・利美さん。

ちびっこフォトでは、元気なお子さんの写真を募集しています。ご両親のコメントを添えて広報担当までお申し込みください。

「ボカボカ」とあたたかな季節。桜、桃、草花が色とりどりに咲き乱れ、心も弾みます。今年、町内四小学校の入学生は九〇人。自分の背中よりも大きく、真新しいランドセルを背負ったかわいい天使たちの姿を見ているとなぜか心が和みます。

勝沼町が誕生して五十一年目の春。少子化が進み、児童生徒の数は減っていますが、子どもたちの元気とまっすぐな心は今も昔も変わりません。花となり、光となり、そして大きな人となってほしい。

平成十七年度も引き続き広報担当となりました。三年目ではありますが、初心を忘れず、親しまれ、お役にたてる広報紙づくりに励みます。取材や撮影の際にはみなさんよろしく願います。(H)

編集後記

お誕生

地区	氏名	保護者
下岩崎	秋山 裕信	達明・美根子
上岩崎	高野 遼	康弘・麻由
小佐手	駒田 彩乃	秀樹・昌美
"	齋藤 幹也	毅・仁実
休息	岩佐 清廣	宣寿・和美
綿塚	安間 亮太	一彦・由佳
菱山	三森 啓生	基裕・栄子

ご結婚

地区	夫	妻
下岩崎	村松 龍	大西 香代
上岩崎	前田 恒司	百瀬由美子
藤井	酒井 幸政	天野理恵子
小佐手	三枝 浩一	小林 知恵

おくやみ

地区	氏名	年齢	届出人
下岩崎	丸山 久まよ	85	丸山 建樹
上岩崎	佐藤美奈の	89	佐藤 要一
"	川崎 知子	65	川崎 純一
小佐手	阪本みや子	89	阪本 芳興
中原	三森 花子	84	三森 貞幸

平成17年3月1日～3月31日届出(敬称略)